

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 アソシアホイスコーレ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7				十分なスペースを確保しているが、高校生対象でもありより広いスペースが確保できると良い。
	2	職員の配置数は適切である	7				指定基準に沿って適切な人数配置を行なっている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2			スロープやユニバーサルトイレを設置している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	3	1		振り返りに参画できるスタッフが少ない場合もあり、業務整理を行いながら広く参画できるように改善したい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				定期的な保護者アンケートは設けていないが、事業所評価のアンケート内容はスタッフ間で共有し改善に繋げている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7				事業所のHPIにて公開
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			7		第三者の外部評価はないが、関係機関や来客からのご意見はスタッフ間で共有し改善を心がけている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7				毎月の職員研修やスタッフの希望に応じて事業所外での研修参加をしている
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				半年に1度のモニタリングや、保護者との情報交換を行なっている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	1		標準化されたツールはまだなく、適切なツールの活用を考えていきたい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2			毎月のカリキュラム内容はスタッフミーティングを行い提案・検討・決定している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1			屋内外での活動や、座学、体験プログラムなどを取り入れている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	5			通信高校の学生を対象としており、年間で大きな課題の変化はないが個々の課題に応じて対応をしている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7				午前・午後のカリキュラムの中で個別活動や集団活動を取り入れた計画を作成している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7				朝・昼のミーティングを活用して役割分担や進捗を確認している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2			ミーティングだけでなく、teamsにて振り返りの共有を行なっている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1			活動記録にて振り返りができるようにしている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				定期的なモニタリングを実施し、適宜見直しを行なっている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	3			基本活動を組み合わせながら支援を行なっているが、今後も継続して支援を行う

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	7				適したスタッフが参加できるよう、その都度、 業務調整を行なっている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	4	3			学校と直接連絡が取れる体制を持ち、連絡 調整が滞らないように努力している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている			7		医療的ケア児の受け入れはしていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	3	3	1		他事業所を併用している場合などは、保護 者同意の下、事業所間で情報交換を行うよ うにしている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	7				担当者会議への参加や情報提供を行い、継 続した支援が得られるよう努力している
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	4	3			連携が取りながら助言等が受けられるよう、 関係を築いて行きたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		2	5		対象が高校生の為、児童館などとの交流は ない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		6	1		今後、積極的な参加をして行きたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	7				電話や面談のみではなくLINEを使用して日 頃から保護者と情報交換ができるようにし ている
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている		4	3		希望がある場合には紹介をしたり、アドバイ スを行なっている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	7				利用契約時に行なっている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	5	2			その都度、面談や電話などで相談に応じ保 護者の不安や悩みが和らげるように心がけ ている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		1	6		今年度はコロナ禍ということもあり、状況が 落ち着いたら改めて保護者会などを取り入 れて行きたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	7				苦情受付窓口を設置し、迅速に対応出来る ようにしている。どのような苦情があったな どの周知は十分にできていない為、改善が必 要
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	3	4			会報はないがLINEや書面にてその都度、行 事案内などを行なっている
	35	個人情報に十分注意している	7				施錠式の棚で個人情報を管理し、関係機関 や緊急時の情報提供に関しては保護者に同 意を得て行なっている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	7				口頭のみにとどまらず、LINEやメールなど の記録が残るものも活用している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	5	1	1		「親子フェスタ」という地域住民を招いた行事 を行った

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2			マニュアルはスタッフで共有し、いつでも確認が出来るようにファイリングされている。保護者への周知徹底も心がけていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7				年に2度、避難訓練を実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7				県主催の虐待防止研修の参加や、事業所独自の虐待防止勉強会を実施している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	5			利用契約時に説明し、止む終えず行う場合には記録に残すと同時に保護者にも説明を行うようにしている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	5			保護者からの情報をもらい、その指示に従っているが主治医からの指示書の活用も行って行きたい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7				ミーティングにて共有を行なっているが事例集の作成には至っていない為、記録として残すよう心がけていく